

団体名	h a h aかふえ
活動テーマ	子どもの防災お菓子リュック作り



阪神淡路大震災を体験した神戸市民は、震災の恐ろしさを嫌というほど体験してきました。何らかの形でほとんどの市民が被災者です。その時に感じたことは、子ども達の事を考える余裕が大人にないという事でした。ですがどうすることも出来ないもどかしさも感じていました。その経験から、防災お菓子リュック作りを企画しております。

震災から20年、震災を経験した神戸市の母親だからこそできる事を、ずっと模索してきました。私たち母親が、災害に備え、非常食等の準備をしなければいけないのですが、被災した記憶が蘇り、万が一の備えを怠っている市民が多い現状です。スタッフの中にも、半数以上は備えを怠っています。

震災から20年経った今、震災を体験した私たちだからこそ発信できる、子ども達を守るための防災用品として、お菓子リュック作りを考案しました。非常食の乾パン等は災害のイメージと直結し、準備する際は、最悪の状態を予想して準備します。ですが、このお菓子リュックは、何事もなければ、子ども達のおやつとして食べる事で災害が起きなかった感謝の気持ちや、生きている事の喜びを同時に、子ども達を感じる事へと気持ちを転換することが出来ます。災害時は弱者が一番大きな被害者となります。弱者の子ども達を守る余裕の無い避難生活を経験してきた私たちだからこそ、子ども達を守るための一助となる、防災お菓子リュック作りを広めていきたいとおもっております。このような気持ちを持つ母親は全国に居ます。その母親たちを対象としてワークショップを展開していくことで、災害に対する興味を持たせ、万が一の際は子どもを守る非常食として全国に展開していきたい所存です。